

秋田大学国際資源学部学生によるボツワナ訪問及び秋田大学・BIUST 関係者との懇談

令和6年11月15日
在ボツワナ日本国大使館

11月8日、大森摂生駐ボツワナ大使は、海外資源フィールドワークのため当地訪問中の秋田大学国際資源学部の学生9名及び同大助教授を迎えて、レセプションを開催しました。また、秋田大学卒業生を含むボツワナ国際科学技術大学（BIUST）関係者を招き、両大学の学術交流等にかかる意見交換を行いました。

秋田大学によるボツワナでの海外研修は2016年に開始し、これまで多くの日本人学生がボツワナを訪問し、当地ダイヤモンド鉱山や銅山等の視察、また、ボツワナの大自然の中で環境保全や資源保護について学んでいます。秋田大学は2009年にBIUSTと学術交流協定を締結し、両大学は人材育成や共同研究、学術情報交換等において、活発に交流を行っています。

BIUSTは資源学部や工学部を有するボツワナの国立大学の一つで、我が国の留学制度やJICA資源の絆プログラムによる長期研修の機会を得て、秋田大学に留学した卒業生や講師・研究者が多数います。秋田大学で博士号を取得したボツワナ人は現時点で9名おり、ボツワナへの帰国後、BIUSTやボツワナ大学で教鞭を取ったり、ボツワナ地質科学研究所（BGI）などの資源関連機関や民間鉱山会社に勤めるなど、各方面で活躍しています。

秋田大学とBIUSTによる学術交流を通じ、ボツワナにおける資源分野の人材育成や共同研究等がさらに発展していくことが期待されます。



秋田大学及びBIUST関係者